

はじめに

本報告書は國學院大學日本文化研究所のプロジェクトと「宗教と社会」学会・宗教意識調査プロジェクトの合同により、1995年度から2015年度まで12回にわたって実施された学生宗教意識調査の総合版である。各回の報告書はそれぞれ調査実施年度に刊行されているが、一部には誤記等があった。グラフの体裁もこの間に用いたソフトの変更で統一されていない。そこで一部の文言および数値を訂正し、グラフの体裁も統一して一冊の報告書としてまとめた。

この調査の1つの大きな足場になっているのは、1990年度にスタートした日本文化研究所のプロジェクト「宗教と教育に関する調査研究」（責任者・井上順孝）が1992年度に実施したアンケート調査である。この調査は全国の大学生4千名あまりを対象とした大がかりなものであった。1993年に「宗教と社会」学会が設立され、同学会に学生宗教意識調査プロジェクト（責任者・井上順孝）が設けられた。2つのプロジェクトが合同して、1995年度から全国の大学生（第1～7回は少数の専門学校が含まれている）から、毎回数千人規模のアンケート調査を実施することになったのである。以来2015年度まで12回の調査と1回の臨時調査が実施された。

さらに日本文化研究所のプロジェクトが1996年から「宗教教育の国際比較」となり、韓国の宗教教育との比較研究も始まった。そこで日本の学生に対するアンケートとほぼ同じ内容の調査を1999年から開始し、2007年まで合計4回実施した。韓国の学生の回答者数は日本の学生の半分以下であるが、それでも比較するに興味深い結果となっている。

質問項目は第5回と第8回の25項目を除いて20項目からなるが、いずれも前半部分は毎回ほぼ同じ内容である。回答者の基本的属性、宗教への関心度合、両親の信仰の有無などである。これによって20年間の変化が見やすくなる。後半部分は毎回のように質問した項目もあれば、一、二回質問しただけのものもある。そのときどきで話題となったような事柄を質問項目に加えるようにした。

回答結果は宗教系の学校と非宗教系（国公立および一般の私立）学校とで、回答の値がかなり異なるものがあった。同様に男女別で異なるものもあった。それらについては全体の数値だけでなく、宗教系・非宗教系の別、男女別で数値を示してある。

すでに刊行されている個別の報告書においては、巻末に全体的コメントが付されているが、それらは今回は省いた。20年間の変化のついての分析や12回の調査結果を比較しての分析などは、別の形の報告書として公表する予定である。なお、毎回の質問内容、プロジェクトメンバー一覧、実施した学校名一覧は末尾に記してある。

2017年1月

編集責任者 井上順孝

目次

第1回学生宗教意識調査(1995年)

[I]回答者の概要	1
[II]身の回りの宗教についての意識・関心	2
[III]宗教に関する意見	9
[IV]超常現象・神秘現象等についての関心・意見	12

第2回学生宗教意識調査(1996年)

[I]回答者の概要	17
[II]身の回りの宗教についての意識・関心	18
[III]宗教に関する意見	24
[IV]超常現象・神秘現象、その他の話題についての関心・経験	30

第3回学生宗教意識調査(1997年)

[I]回答者数の概要	37
[II]身の回りの宗教についての意識・関心	38
[III]宗教に関する意見	44
[IV]超常現象・神秘現象、その他の話題についての関心・経験	49

第4回学生宗教意識調査(1998年)

[I]回答者数の概要	58
[II]身の回りの宗教についての意識・関心	59
[III]宗教及びそれに関連する事柄への意見	66
[IV]超常現象・神秘現象、その他についての関心や意見	70
[V]散骨・自然葬に関する意識	73
[VI]最近の情報手段	74
[VII]社会問題への意識	76

第5回学生宗教意識調査(1999年)

[I]回答者の概要	79
[II]身の回りの宗教についての意識・関心	80
[III]宗教及びそれに関連する事柄への意見	86
[IV]超常現象・オカルト、その他についての関心や意見	91
[V]神仏の存在・その他	97
[VI]最近の情報手段	102

第1回韓国学生宗教意識調査(1999年)

[I]回答者の概要	103
[II]身の回りの宗教についての意識・関心	104
[III]宗教及びそれに関連する事柄への意見	110
[IV]超常現象・オカルト、その他についての関心や意見	115
[V]神仏の存在・その他	120
[VI]最近の情報手段	124

第 6 回学生宗教意識調査(2000 年)	
[I] 回答者の概要	125
[II] 身の回りの宗教についての意識・関心	126
[III] 宗教及びそれに関連する事柄への意見	132
[IV] 超常現象・オカルト、その他についての関心や意見	137
[V] 神仏の存在・その他	142
臨時アンケート：森首相の「神の国」発言等について(2000 年)	146
第 2 回韓国学生宗教意識調査(2000 年)	
[I] 回答者の概要	150
[II] 身の回りの宗教についての意識・関心	151
[III] 宗教及びそれに関連する事柄への意見	156
[IV] 超常現象・オカルト、その他についての関心や意見	160
[V] 神仏の存在・その他	165
第 7 回学生宗教意識調査(2001 年)	
[I] 回答者の概要	170
[II] 身の回りの宗教についての意識・関心	171
[III] 宗教や精神世界に関連する事柄への意見	177
[IV] 宗教とジェンダー	183
[V] 宗教とインターネット	185
第 8 回学生宗教意識調査(2005 年)	
[I] 回答者の概要	187
[II] 身の回りの宗教についての意識・関心	188
[III] 神、仏、靈魂の存在について	193
[IV] 宗教に関わる事柄への意見	196
[V] 占いについて	200
[VI] 宗教家について	203
[VII] インターネットと宗教	206
[VIII] 葬式と脳死問題	207
[IX] 宗教とジェンダー	210
[X] 靖国問題	212
[XI] イスラーム問題	213
[XII] オウム真理教問題	214
第 3 回韓国学生宗教意識調査(2005 年)	
[I] 回答者の概要	215
[II] 身の回りの宗教についての意識・関心	216
[III] 神、仏、靈魂の存在について	221
[IV] 宗教に関わる事柄への意見	224
[V] 占いについて	228

[VI]宗教家について	231
[VII]インターネットと宗教	234
[VIII]葬式と脳死問題	236
[IX]宗教とジェンダー	238
[X]靖国問題	240
[XI]イスラーム問題	241
[XII]オウム真理教問題	242

第9回学生宗教意識調査(2007年)

[I]回答者の概要	243
[II]身の回りの宗教についての意識・関心	244
[III]神、仏、靈魂の存在について	247
[IV]宗教に関わる事柄への意見	249
[V]宗教やスピリチュアル・霊能番組など	253
[VI]宗教の勧誘について	258
[VII]インターネットと宗教	260

第4回韓国学生宗教意識調査(2007年)

[I]回答者の概要	262
[II]身の回りの宗教についての意識・関心	263
[III]神、仏、靈魂の存在について	266
[IV]宗教に関わる事柄への意見	268
[V]宗教家と宗教儀礼について	271
[VI]占いについて	273
[VII]宗教・占いの勧誘について	276
[VIII]インターネットと宗教	279

第10回学生宗教意識調査(2010年)

[I]回答者の概要	281
[II]身の回りの宗教についての意識・関心	282
[III]宗教や宗教家に関する考え	285
[IV]宗教に関わる事柄への意見	289
[V]葬儀に関して	295
[VI]オウム真理教について	297
[VII]宗教と社会問題	299

第11回学生宗教意識調査(2012年)

[I]回答者の概要	303
[II]身の回りの宗教についての意識・関心	304
[III]宗教や宗教家に関する考え	308
[IV]宗教に関わる事柄への意見	312
[V]葬儀に関して	319
[VI]オウム真理教について	321
[VII]宗教と社会問題	323

第12回学生宗教意識調査(2015年)

[I]回答者の概要	327
[II]身の回りの宗教についての意識・関心	328
[III]宗教や宗教家に関する考え	332
[IV]宗教に関わる事柄への意見	336
[V]葬儀に関して	343
[VI]靖国問題に関して	345
[VII]オウム真理教について	346
[VIII]宗教と社会問題(東日本大震災と宗教)	348
質問票	351
プロジェクト・メンバー	385
実施校	386

凡 例

1. パーセンテージは小数点第2位を四捨五入した数値である。
2. 宗教系の大学は〔宗教系〕、非宗教系の大学は〔非宗教系〕と表記する。
3. 宗教系の高校は「宗教系高校」、非宗教系の高校は「非宗教系高校」と表記する。
4. 男子学生、女子学生はそれぞれ男性、女性と表記する。
5. 各グラフについて若干の説明を加えた方が分かりやすいと思われた場合は、*をつけてコメントを付した。
6. 宗教別のうち「新宗教」に含める教団は、井上順孝・孝本貢・対馬路人・中牧弘允・西山茂編『新宗教教団・人物事典』(弘文堂、1996年)に記載された教団を基準とした。